

活動10周年・プレコンサート

レクイエム・プロジェクト広島2022

遙か東の海にあるという
ニライカナイからのたよりも
もう絶え果てたのか

溢れ落ちた涙が、くぼくの子守歌
歌となり花ひらいて、くぼくの子守歌
歌となり花ひらいて、くぼくの子守歌
歌となり花ひらいて、くぼくの子守歌

待ちわびた祈りの朝に
かがやくティダ昇る

主催 レクイエム・プロジェクト実行委員会、レクイエム・プロジェクト広島実行委員会
特別協賛 (株)ケー・エフ・シー
協力 和田 忠<グラフィック・デザイン>、(株)エムプロジェクト<配信・収録>

2022年 **9/24** SAT

午後2時開演(午後1時30分開場)

会場：安芸区民文化センター・ホール

ごあいさつ

作曲家、レクイエム・プロジェクト代表：上田 益 うえだ すすむ

本日はご来場誠に有難うございます。

阪神・淡路大震災の被災地「神戸」で2008年から始まったレクイエム・プロジェクトは、来年2月で活動15周年を迎えますが、広島での活動は今年2月に10年目に入りました。

そもそもこの「レクイエム・プロジェクト」とは何なのかと、思われている方も多いかもかもしれません。

一言で言えば、自然災害や戦争で傷ついた地域で行っている、「追悼」「希望」「大切ないのちへの思い」をテーマにした合唱プロジェクトです。これまでに全国10箇所で開催し、現在もそのうち7箇所で開催した通年の活動を行っています。つまり、コンサートを行うことだけを目的とした活動ではないのです。

直近の被災地では、それぞれの被災者が心の内にある悲しみ、苦しみを共に歌に託し、お互いに共有し共感することで、人と人、地域と地域が自然に繋がっていくプロジェクトでもあるのです。その根元にあるものは何かといえば、思いを託す合唱作品そのものです。

その作品を活動しているすべての地域の合唱団でほぼ同じタイミングで練習し、それぞれのコンサートにボーダーレスに参加しながら交流し、繋がっていくのです。本日も、東京、神戸、長崎から有志が参加しています。

レクイエム・プロジェクトで歌っている楽曲はすべてプロジェクトで生まれたオリジナル作品です。活動を行う被災地の詩人に詩を書き下ろしていただき、プロジェクトの主宰者であり代表である作曲家の上田益が作曲した楽曲ばかりです。被災者と同じ経験をし、同じ心の痛みを抱えている詩人だからこそ、書き下ろされたその詩には、歌う者や聴く者にとって共感と共有を促してくれる世界が広がっているのです。ラテン語の作品は、代表の上田益が1999年からコロナ禍で中断する2020年の前年まで21年間にわたり、毎年会場で流れる音楽を作曲していた神戸ルミナリエのための作品が多く含まれています。阪神・淡路大震災の犠牲となった方々の追悼と神戸の街の復興願って開催されてきた神戸ルミナリエは、私にとってもこのプロジェクトの原点となっています。

今回の広島での演奏曲目は、第1ステージ以外は2010年から2015年まで活動していた沖縄の詩人、伊波希厘さんに詩を書き下ろしていただき、作曲した作品ばかりです。

世界で初めて原爆を投下された被爆地・広島。その地で行うこのプロジェクトは、長崎とともに大切な役割を担っていると私は思っています。戦争や原爆を体験した世代が高齢化する中で、これからも平和や命の大切さを、音楽を通して伝え続けていくこのプロジェクトに、どうかこれからもお力添え賜りますよう、お願い申し上げます。



上田 益 プロフィール

京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。1980年度文化庁芸術家国内研修員として東京で研鑽を積む。長野オリンピック公式楽曲や神戸ルミナリエ、TVドラマ、アニメなど幅広いジャンルの楽曲を手掛ける。2008年に阪神・淡路大震災の被災地・神戸において、「追悼と希望」「大切ないのちへの思い」をテーマとし、レクイエム・プロジェクトを開始。その活動は、地震などの自然災害や戦争で傷ついた全国に現在広がっている。東日本大震災被災地では、北いわて（久慈、野田村など、岩手県北部沿岸地域を中心とした地域）、仙台、気仙沼、福島市、南相馬で活動を行い、大船渡、陸前高田の被災者の方々も参加。その他の地域では神戸、東京、兵庫県佐用町、広島、長崎、沖縄でこれまでプロジェクトが行われ、その多くの地域で継続した活動が行われている。

レクイエム・プロジェクト実行委員会

代表：上田 益 副代表：高田 薫

レクイエム・プロジェクト広島実行委員会

実行委員長：佐伯康則

実行委員：伊藤孝子、吉野早百合、戸原侑子、陶守由紀子

作曲はすべて上田益。全音楽譜出版社刊。

第1部

① グレゴリア聖歌とラテン語による上田益作品より 指揮:佐伯康則、ピアノ:鎌田章子

- グレゴリア聖歌 Ave Maria ● 上田益 : Ave Maria ~母に寄す~
 - グレゴリア聖歌 Salve Regina ● 上田益 : Salve Regina
 - グレゴリア聖歌 Kyrie
 - 上田益 : Missa Brevis ~平安への祈り~ (2016年、フランシスコ教皇献呈曲)
- 1.Kyrie 2.Gloria 3.Credo 4.Sanctus et Benedictus 5.Agnus Dei

② 女声合唱組曲「今この時を」(詩:伊波希厘).....指揮:上田 益、ピアノ:大井里菜

1.風が生まれる

時間のまんなかで
悔しくて立ちどまるとき
こころの森
裸足になって歩いてみよう
つまさき やんわり
染まってゆくよ
不思議だね
ぼくのこころに いま
みどりの風が生まれる
もっと優しくなれるように
ぼくが ぼくであるように

時間のまんなかで
泣きたくって立ちどまるとき
こころの泉
両手ですくって見つめてごらん
ゆびさき ひんやり
満ちてくるよ
不思議だね
きみのこころに ほら
みずいろの風が生まれる
もっと強くなれるように
きみが きみであるように

生きている時間のまんなかで
ぼくのこころに 風が生まれる
きみのこころに 風が生まれる

2.わたしの空

わたしらしくない
問いかけてみる
わたしらしくない
答えてみる

かごの中の鳥は
たいくつそうに
きゅうくつそうに
ありふれた今日を歌っている
新しいとびら
だれかが開いてくれるのを

* 待っているみたいに
わたしもおんなじ
問いかけてみる

背のびしても
伝えたい言葉 足りないから
受けとめようとしても
うなづくこと できないから
思い描く未来 まだ

はっきりと形にならないから
わたしらしくない
いつも揺れ動いている

このつばさ信じて
新しいとびら開けば
青ふりそぐ空が
わたらしい空が
明日へつながっているはず

* 作曲にあたり「待っている」を「待ってる」とした。

3.今この時を

ささやかな願いを込めた
初めての種をまいたら
だれかに そっと話したくなる
さりげない約束を告げる
初めての花を見つけたら
だれかに そっと教えたい
こころが動きだす

あの日の雲のかたち
ひたむきに手を伸ばした
そんなふうに
小さなひとつひとつで
世界はつくられていた

うつくしい贈り物みたいな
初めての雪が降ったら
あなたに きっと見せたい
ゆずれない宝物みたいな
初めての涙こぼれたら
あなたに きっと伝えたい
こころを重ね合う

あの日の思い胸に
よみがえり目をつむった
そんなふうに
大切なひとつひとつで
世界はつくられてゆく

たしかめる足あとのような
はてしない祈りのような
そんなふうに
大切なひとつひとつで
未来はつくられてゆく

そんなふうに
特別な今この時を
みんなみんな生きている

4.はじまりの日のうた

覚えていますか
朝つゆ乗せたつぼみに
そよ風はなしかけるような
はじまりの日のうたを

もらったばかりの名前
呼んでいたのは
ずっとわたしを待っていたひと
やわらかな光に包まれて
凜として咲きなさいと

わたしたちが地球で目を覚ました
命のはじまりの日のうたよ

覚えていますか
ひな鳥まるい巢のなか
日なたのにおいのような
はじまりの日のうたを

行ったことのない場所
なつかしかったのは
ずっとわたしを待っていたから
あたたかな光を抱いて
羽ばたいていきなさいと

わたしたちが地球で大きく息をした
命のはじまりの日のうたよ

覚えていますか
はじまりの日のうたを
命をありがとう

休憩 15分

第2部

① 女声合唱組曲「こころのアルバム」(詩:伊波希厘)……………指揮:佐伯康則、ピアノ:大井里菜

1. 古いアルバム

モノクロームの写真は
 愛しさに縁どられて
 眠っている わたし
 泣いている わたし
 ちいさな手ぎゅっと握って
 あくびをする わたし
 明るい午後の日差しの中なかで
 古いアルバムを繰(く)る
 母の髪が銀色に波うつ
 やわらかな時間を遡(さかのぼ)って
 とおい渚に揺れゆれて
 ミルクの吐息
 そっと幼子(おさなご)の名を呼ぶ
 若き日の母のまなざし
 子守歌くり返しながら
 思い出の向こうで泣きぬれて
 とおい渚に揺れゆれて
 母の横顔がにじんでゆく

2. 空色のたねを持って

四月の教室にあの子を見つけた
 窓がわの席 ふわり笑って
 毎日を空色にするたねを持っていた
 さんすうの教科書ひらいて
 赤えんぴつで描(か)く宝島
 給食のコッペパン
 ラの音が出ないオルガン
 校舎の大時計見あげていた
 うんどう場の砂ぼこり
 あの子とのぞいた水たまり
 たんぼぼの綿毛とばして
 雲のきれはし 風の手ざわり
 いつまでも暮れない帰り道
 九月の教室にあの子はいなかった
 すてきなたねを持って知らない町へ
 たんぼぼみたいだった あの子

3. しおり

指先に
 冬の匂いが降りてくる
 色褪せぬ街
 プラタナスの並木道
 言葉もないままに
 会えなくなったひと
 面影が行き過ぎる
 落ち葉とつむじ風と
 梢を渡ってゆく季節は
 何も知らぬそぶりで
 ところに挟んだ
 しおりを外すために
 もう一度会いたいひとがいて
 もう会えないひとがいて

4. このひととき

このひとときをここに
 映しておきましょう
 移ろいゆく明(あ)け雲(ぐも)のせつなさを
 中庭に咲き残る薔薇のゆかしさを
 このひとときをここに
 仕舞っておきましょう
 耳をくすぐる蜜蜂の羽音(はあと)
 岩間の湧き水のひとりごと
 紅(くれない)の葉は水底(みなそこ)で
 真昼の夢を見るでしょう
 十六夜(いざよい)の月は冬枯(ふゆが)れの
 林をつめたく照らすでしょう
 このひとときに溶けあうような
 わたしになれるでしょうか
 歩みを止めて
 ころ委ねて
 いつしかあたり一面に
 花びらのような時間が
 降りつもってゆくでしょう
 音もなく降りつもってゆくで

① 混声合唱組曲「遙かなる海へ」<全音楽譜出版社刊>……………指揮:佐伯康則、ピアノ:鎌田章子

1. 若夏に思う

若夏のまぶしく光る朝には
青くあおい空の彼方へ
消えていったひとの
まなざしを思い出す
すべてを置き去りにして
ほほえむそのひとの名を
もう口にできない
わたしは立ちつくし
見上げる空に影なき影を見る

若夏のやさしくたゆまう夜には
深くふかい海の底へ
沈んでいった子の
呼ぶ声が波のまにまに
抱き上げたあの子の重さ
やわらかな頬に
もう触れることはできない
わたしは立ちつくし
見下ろす海に声なき声を聞く

めぐりくる季節にも
癒えることのない
痛みを抱いて祈り続ける
影なきかけがえのないものへ
声なきかけがえのないものへ
安らかであれば

あふれ落ちた涙が焦土を鎮め
歌となり花ひらくその日まで

2. 悲しみのティダ(太陽)

長い戦が終わりを告げた日
捨て石となった我(わ)した島は
戦禍にさらされ呻くだけ
目に映るすべてが
目に見えないすべてが
灰となり土くれに変わっていた

その昔
風に乗れ海を越えて
先人たちが築きあげた
在りし日の
古城へつづく石畳
樹齢を刻んだ松並木
赤瓦連なる町なみ
三線の調べ溶けゆく平和な島
幾百年の時を重ねて
幾百年の祈りを込めて
鮮やかに織りあげられた歴史
失われた過去と未来の
ありとあらゆる重さに沈黙する

ああ悲しみの邦に
悲しみのティダ(太陽)沈む

遙か東の海にあるという
ニライカナイからのたよりも
もう絶え果てたのか

3. 遠き子守歌

焼け残った島に
風がさわぎ
雨がふりました
雨のせいなのか
父さんの顔が
少しずつ薄れていくのです

焼け残った島に
木々が芽生え
虹が立ちました
虹のせいなのか
母さんの声が
少しずつ遠くなっていくのです

ヨイシー ヨイシー 泣くなよ
ヨイシー ヨイシー 泣くなよ

焼け残った島に
打ち寄せる波のように
くり返しくり返し
聞こえる歌があります
ひとり生きていくほどの
心に灯るいつかの子守歌

ヨイシー ヨイシー 泣くなよ
ヨイシー ヨイシー 泣くなよ

4. 祈りの朝に

夜明けを待つ
その間(あわい)の闇の中
南の海の小さな島で
ひとつの歌が生まれた
とても小さな歌だったけれど
息をひそめた闇の中
自らひかりを放つ歌だった
目を覚ました鳥たちが
緑の木々でささやき合う
やがて歌は風に乗り
島のそこかしこへと広がっていく

あの戦が残した悲しみも
痛みも怒りも越えて
いま涙は歌となり花ひらく
待ちわびた祈りの朝に
世界は静まり耳を傾けるだろう
あるいはそれは真実の歌
過去に目をそむけることなく
偽りのない真実を伝えるために
あるいはそれは平和の歌
争いのない未来を約束するために
生まれてきたのだ

ああ遙かなる海原を
金色に染めあげて
かがやくティダ(太陽)昇る
この空にこの海に
待ちわびた祈りの朝に
かがやくティダ(太陽)昇る

大切なふるさと

詩、曲:上田 益

1)
今年も夏が来て ひまわりの花が咲く
めぐる季節が いのち育み 鮮やかに輝く
あの日のふるさとの 悲しい思い出を
私の胸に そっと抱きしめ 未来へ向かおう

2)
秋の澄み渡る風 冬の凍てつく寒さ
めぐる季節が いのち育み 静かに春を待つ
あの日のふるさとの つらい思い出を
あなたの胸に そっと抱きしめ 未来へ向かおう

3)
暖かな春の陽 花たちは咲き競い
星になった あなたの思い 清らかに薫る
菜の花で編んだ 柔らかな架け橋は
残された人を しっかり結び 未来へ導く

太陽の光が 希望へと導く
夜空の月は 未来を照らす

山々が色づき 夢へと導く
朝霧がいのちの 扉をひらく

美しい桜も 若葉の緑も
ふるさとの明日を 見守っている

いつまでも いつまでも
あなたの笑顔 忘れない
いつまでも いつまでも
大切な ふるさと

いつまでも いつまでも
きみのやさしさ 忘れない
いつまでも いつまで
大切な ふるさと

※いつまでも いつまでも
私たちと共に 歩む
いつまでも いつまでも
大切な ふるさと

混声、同声2部合唱版はカワイ出版から出版。混声3部合唱版は全音楽譜出版社刊。
上田 益 混声合唱作品集「ふるさとのうた、いのちのうた」に収録されています。

(※繰り返し)

佐伯康則 (さえき やすのり) レクイエム・プロジェクト広島実行委員長、作曲家、合唱指揮者



エリザベト音楽大学作曲コース卒業。太田司郎、井上一清、ホセ・テホンの各氏に師事。後年スペインに留学し、バルセロナ市立高等音楽院合唱指揮科にてエンリケ・リボ氏に師事して、ルネサンス期のポリフォニー音楽を研究。帰国後、音楽教育者として活躍し、数多くのコーラスグループの合唱指導をつとめる。2016年9月、Tu es Petrusをローマ法王に献呈。

鎌田章子 (かまだ あきこ) ピアノ



広島音楽高校、エリザベト音楽大学ピアノコース卒業。ピアノを佐藤富起子、佐藤恭子各氏に師事。ソルフェージュを佐伯康則氏に師事。現在後進の指導にあたる。広島市の各公民館主催事業や包括支援センター主催講座にてピアノを担当。合唱、声楽の伴奏ピアニストとして活動している。

大井里菜 (おおい りな) ピアノ



広島県出身。4歳からピアノを始める。エリザベト音楽大学鍵盤楽器専攻卒業、同大学院修了。在学中に特別奨学生に選ばれる。第7回ベートン音楽コンクールベスト10賞受賞。第16回さくらびあ新人コンクール第3位受賞。第35回広島市新人演奏会にて優秀演奏者に選ばれ、プロミシングコンサート2014にてラヴェルのピアノ協奏曲ト長調を広島交響楽団と共演。第25回コジマムジカコレギアにてラフマニノフピアノ協奏曲第二番をオーケストラと共演。これまでに滝村理恵、増原みどり、光井安子、戸梶美穂の各氏に師事。

田尻 健 (たじり たけし) テノール(合唱賛助出演)



熊本県出身。関西学院大学法学部法律学科卒業。エリザベト音楽大学大学院音楽研究科宗教音楽専攻修士課程修了。フランスのオーベルヴィリエ・ラ・クールヌーヴ地方音楽院バロック声楽のDEM(音楽研究資格)を取得。ヘンデルの「メサイア」、バッハの「口短調ミサ」、モーツァルトの「レクイエム」などのソリストとして様々なコンサートに出演。オペラではヘンデルの「アルチャーナ」オロンテ役、ラモアの「プラター」テスピス役などで出演。Men's Vocal Ensemble「寺漢」、Hiroshima Kantreiのコンサートマスター、Hiroshima Bach Soloists, Ensemble Germes主宰。エリザベト音楽大学非常勤講師。

平田昌久 (ひらた まさひさ) バス(合唱賛助出演)



エリザベト音楽大学宗教音楽学科宗教声楽コース卒業。同大学院修了。在学中定期演奏会やクリスマスコンサートのソリストを務め卒業演奏会・修了新人演奏会に出演。第9回都留音楽祭オープニングコンサートに出演。東京カテドラル聖マリア大聖堂にてモンテヴェルディ「聖母マリアの夕べの祈り」「倫理的宗教的な森」のソリストとして、またパリのマドレーヌ寺院にてフォーレ「レクイエム」のバリトンソロを、シュツツやバッハの「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」ではイエスを務める。その他ヘンデルの「メサイア」やモーツァルトの「レクイエム」バスソロ等、各地で独唱者として活動している。声楽を鈴木仁、宇田川貞夫各氏に師事。広島山陽学園山陽高等学校教諭、山陽太鼓「弾」顧問、スマイルコーラス指揮者。

レクイエム・プロジェクトとは

作曲家・上田 益(うへだ すすむ)が主宰する「レクイエム・プロジェクト」は、人と人、地域と地域をつなぐ合唱プロジェクトとして、阪神・淡路大震災の被災地である神戸で2008年に始まりました。これまで全国10箇所で開催し、現在、北いわて(久慈、野田村など)、仙台、東京、神戸、兵庫県佐用町、広島、長崎といった自然災害や戦災で傷ついた7地域で継続した活動を行っているほか、海外公演(プラハ、ウィーン、パチカン、イタリア、ポーランド)も行っています。
<https://www.requiem-project.com>



レクイエム・プロジェクト東京2015
〜戦後70年、追悼と希望、そして平和への思いを未来へ〜
(ティアラこうとう 大ホール)



現在までのプロジェクト実施地域、関連活動地域

神戸(2008年2月~現在)

レクイエム・プロジェクト発足の地。阪神・淡路大震災犠牲者の追悼をきっかけに2008年2月から準備活動が始まり、7月から合唱団の練習を開始。現在、活動14年目。2016年までは毎年震災の日である1月17日にコンサートを実施。2017年より、他地域の団員が参加しやすい日程で開催。各地のプロジェクト・コンサートに毎回有志が多く参加し、活動の中心的存在。毎年コンサートを開催。



兵庫県佐用町(2010年11月~現在)

2009年に発生した水害犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。現在活動11年目。各活動地域の中で混声合唱団から唯一の女声合唱団に昨年変更。数年に1回コンサートを開催するほか、積極的に合唱団としての定期演奏会を行う。

長崎(2012年9月~現在)

原爆犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。趣旨に賛同し、公募により集まった合唱団員数は全国でも有数。2015年のコンサートは長崎市被爆70周年記念事業に、2020年のコンサートは同75年記念事業に採択。浦上天主堂で追悼コンサートを開催。現在活動9年目。ほぼ毎年コンサートを実施。

沖縄(2010年4月~2015年6月)

沖縄戦の犠牲者追悼をきっかけに那覇で活動を開始。2015年の沖縄戦終結70年の追悼コンサートをもって5年間の活動を終了。

広島(2013年2月~現在)

原爆犠牲者の追悼をきっかけに活動を開始。さらに2014年に発生した大規模土砂災害犠牲者の追悼も加わる。現在活動9年目。ほぼ毎年コンサートを開催。



<海外での活動>

- **プラハ(チェコ)**: 2012年4月1日、東日本大震災チャリティーコンサートをドヴォルザーク・ホールでプラハ・フィルと開催。日本から神戸・東京の声楽ソリスト5人と合唱団有志17人が参加。在チェコ日本国大使館後援。
- **ウィーン(オーストリア)**: 2014年10月11日、聖シュテファン大聖堂主催公式コンサート開催。東日本大震災から3年を迎え、その追悼の思いを込め、神戸・東京の声楽ソリスト(指導者)8人、仙台、南相馬、東京、神戸、広島、長崎から参加したプロジェクト合唱団有志、そして仙台フィルメンバー4人を含む総勢158人と現地のプロ・オーケストラにより演奏。
- 復興祈念と平和への祈りを込め、バチカン教皇庁の特別な許可を得て、「バチカン・イタリア特別公演」を2016年9月に実施。サン・ピエトロ大聖堂ミサでの演奏、システリーナ礼拝堂での献唱(以上バチカン)、聖フランチェスコ聖堂(アッシジ)、サンタ・トリニータ教会(フィレンツェ)での演奏会を行う。声楽ソリスト4人と各地のプロジェクト合唱団有志、総勢106人により演奏。聖フランチェスコ聖堂で初演した、プロジェクト主宰者・上田益作曲「ミサ・プレヴィス〜平安への祈り」は、初演に先立ち教皇フランシスコに献呈する荣誉をバチカン教皇庁から与えられた。
- 「レクイエム・プロジェクトinポーランド〜平和への祈り〜」を、クラコフ市特別名誉賛助後援、在ポーランド日本国大使館後援のもと、2019年10月に実施。滅多に演奏の機会を持ってないシフィドニツァ・平和教会でのオルガンとのコンサート、クラコフ聖マリア教会での献唱、聖カタリーナ教会でのクラコフ・フィルハーモニー管弦楽団との共演、ワルシャワでは聖十字架教会ミサでの演奏や、ワルシャワ大学日本学科設立100周年記念行事の一環としてコンサートを実施。

レクイエム・プロジェクト広島合唱団

ソプラノ：神原玲子、戸原侑子、吉野早百合、清老敏子、山下順子、田原久仁子、吉野智恵、花田啓子、大沢博子、羽田敬子
 渋谷道子、大岡弘子
 アルト：伊藤孝子、浮田恵美子、陶守由紀子、森田美子、橋本敏子、大田陽子、新井和子、小山田美登里、杉本敦子
 倉頭聰子、灘本葉子、森川 都、後藤愛子、土井加代子
 テノール：松村拓典、吉川 恵
 バス：平岡昭洋、元山和志

賛助出演(広島)

ソプラノ：小田美知子、小田みほ子、阪田治子、白砂初美
 メゾ：池田悦子、井平芳美、片岡路子、河辺ふみ、末沢美代子、中井俊予
 アルト：大島久美子、岩瀬祥子
 テノール：田尻 健、和田靖幸
 バス：平田昌久、金井 一

レクイエム・プロジェクト 東京いのりとき合唱団有志

ソプラノ：石井由美子
 アルト：池田美恵子
 テノール：石田庸介
 バス：石井洋一、伊藤俊介

レクイエム・プロジェクト 神戸いのりとき合唱団有志

ソプラノ：熊谷厚子、平見安佐子
 アルト：青山真理子
 テノール：青山佳弘

レクイエム・プロジェクト 長崎いのりとき合唱団有志

テノール：片町修一、中元英樹

見学大歓迎です!

合唱団員を募集します!

レクイエム・プロジェクト広島合唱団は、来年10周年を迎えます。新たに合唱団員を幅広く募集します。

参加資格：レクイエム・プロジェクトの趣旨に賛同する合唱経験者。定員20名(ソプラノ、アルト、テノール、バス)。

練習：土曜日、午後1時～4時。原則的に月3回。

●一般からのポーランド参加希望者は、7月から順次レクイエム・プロジェクト広島合唱団の練習に加わっていただきます。また月2回以上の参加が必要です。

練習費用：月額 2,500 円。楽譜代および追加練習(実施の場合)の費用は別途。

練習会場：主にゆいぽーと(男女共同参画推進センター) ※鷹野橋電停すぐ。

指導：作曲家・合唱指揮者で、レクイエム・プロジェクト広島実行委員長の佐伯 康則。および主宰者で作曲家の上田益。

お問合せ・電話：080-5181-6692(上田)、または メール：requiem@music.nifty.jp(東京本部)
 レクイエム・プロジェクト 公式ホームページ <https://www.requiem-project.com/>



技術の力で未来を支える



建設ファスニング技術を通じて道路・鉄道・建築耐震などの安全対策に注力し、社会の発展と環境づくりに貢献します。

GBRC 性能証明 第01-03号改2

ハイブリット 耐震補強工法

本工法は、工事中の騒音や振動、粉塵を軽減できる特長を生かしながら、病院や学校あるいは事務所建築を中心とした、居ながらの耐震補強工事を可能としました。



内付工法 内装仕上げ例



外付工法 外観



ケー・エフ・シーはレクイエム・プロジェクトを応援します！



建技審証第 1203 号

せん断補強 **RMA** 工法

「既存ボックスカルバートや擁壁などの連続壁に対し、内空断面を侵さず補強を行いたい。」そんな希望にお応えするため開発されたのが、RMA 工法です。



RMA 工法施工前



RMA 工法施工後

【事業内容】

耐震関連工事の設計・施工及び環境・安全施設工事
建設用ファスナー類及び付属品の販売・施工
トンネル掘削用資材の販売

【事業所】

東京・大阪・名古屋・仙台
横浜・静岡・岡山・広島・福岡



株式会社 ケー・エフ・シー

<http://www.kfc-net.co.jp>